

Marui Gas 販売店とあなたを結ぶコミュニケーション情報紙

暮らしの快適と安心は
発行

マルガ かわら版

Maruiムティ 12



日本のご家庭で一番多く
使われているイワタニの
Marui Gas

「ムティ」とはドイツ語でお母さん。

vol.508 DECEMBER 2018

今すぐチェック! 暮らしに潜む火災の原因

家庭の中の身近なものが、火災の原因となることがあります。お家の中を今一度見直してみましょう。



① タコ足配線をしている

同時に使える電流の容量を超え、差込口や電源プラグが発熱して発火する恐れがあります。

対策 個別スイッチ付きの節電タップを使う。

暮らしの中で防火対策を!

火災が多い
季節だから

冬場は空気の乾燥などから火災が多い季節。実は、何気ない日常の中にこそ火災の原因が潜んでいることをご存知ですか？
今月号は、ご家庭での火災原因チェックポイントや、万が一に備えた対策をご紹介します。

監修 小林 恭一先生(東京理科大学大学院 国際火災科学研究所教授)

② 電源プラグや差込口付近にホコリが溜まっている

電源プラグと差込口の間ホコリに電流が流れ、発火する恐れがあります。

対策 電源プラグを抜いてホコリを取り除く。

⚠必ず乾拭きをし差込口の中は触らないこと。



③ 10年以上使っている家電がある

古い家電は、電気部品が劣化してショートし、発煙、発火の危険が。本体が熱くなる場合は要注意です。

対策 製造年を確認し、修理や買い替えを検討する。

④ 指定ワット数以上の電球を使っている

照明器具に指定ワット数以上の電球を取り付けていると、電球が過熱して発火する危険があります。

対策 指定されたワット数の電球に取り換える。

⑤ 電池を溜めて置いている

電池をバッテリーから出して大量に保管すると、電池の+極や-極が接触してショートし、発火する場合があります。

対策 バッテリーから出さない。使用済のものは処分する。

★4面くらしのヒントも参考にしてください。

⑥ 窓際に拡大鏡を置いている

ルーペやメガネ、化粧用の鏡などの拡大鏡は、太陽光を一点に集め、熱を発生させる可能性があります。

対策 直射日光の当たらないところに置く。

防火のためにも
「火災警報器」の設置が
大切です！

火災警報器は、消防法により、すべての家庭に設置が義務付けられています。

1か所だけでなく、
いくつかの場所に設置する
ことが大切です。



Q どうに設置したらいいの？

A 寝室と階段、廊下、キッチンなどに設置することが大切です。とくに、寝ているときでも火災に気づくよう寝室への設置や、上階へ煙が充満する前に警報が鳴るよう階段への設置が義務化されています。



※設置場所の基準は、各市町村条例により定められています。

Q 交換時期はあるの？

A 古い火災警報器で電池切れの警報が鳴ったら、本体の寿命が来ている恐れもあります。設置後10年程度経っていたら本体ごと取り換えましょう。また、取り付け後は、定期的な動作確認をしましょう。

Q どうで購入できるの？

A Marui Gas 販売店で購入することができます。設置や動作確認の方法についても、お気軽にご相談ください！
(設置は、ご自身で行うことも可能です)

お問合せはMarui Gas 販売店へ